

## 算数の時間に使ってみたい発問

授業の場面	発問	問いかけ
1. 問題把握	どんなことについて学習するのだろう。 何について調べたいですか。 今日は、どんなことがわかればいいのでしょうか。	課題の把握 問題の把握
	何がわかっていますか。 何がわかればいいのでしょうか。 気になるところはありませんか。	解決の糸口
	どうなりそうですか。 いくらぐらいになりそうですか。 どんな考え方が使えそうですか。 見通しは立ちましたか。	予想 見通し 見積もり
2. 自力解決	特別な場合で考えてみよう。 考え易い形は、ないですか。	特殊化
	共通していることはないかな？ 何か同じことが隠れていないかな？	解決の糸口
	前に似たことはなかったかな？ 知っていることで使えそうな考え方はないかな？	類推
	数をいろいろ変えてみたらどうだろう。 数を簡単な数に置き換えてみてはどうだろう。	単純化
	関係を絵や図にかいてみよう。 わかり易く絵か図か表に整理できないかな？	数量化 記号化 図式化 図形化
	解決のためには、何がわかればいいのだろうか？	解決の糸口
	本当にそういえるのでしょうか。	確認 再考
	もっと簡単にならないかな？ もっとわかり易くできないかな？	簡略化 一般化 統合化
	他の考え方は、ないかな？ 他の解き方は、ないかな？	多様化
3. 学び合い	どこがすばらしいですか。 自分の考えより優れているところはどこでしょう。	お互いに認め合う
	自分の考えや方法と比較して意見を述べてみよう。	比較
	すっきりしているね。 わかり易いね。 簡単でわかり易いね。 ていねいだね。 よくわかるね。	評価
	理屈に合っていますか。 まちがいはないですか。 付け加えはありませんか。 それぞれのよいところが見つかりましたか。	相互評価
	4. まとめ	結果は、どうなりましたか。 どんな考え方を使ったのでしょうか。 共通している考え方は、何でしょう。 まとめるとどんなことが言えますか。 結論としてどんなことが言えますか。 今日は、どんなことがわかったと言えますか。
振り返り わかったことをいろいろな場面に使ってみよう。		拡張 発展
今度は、どんな学習がしたいですか。 今度は、どんな問題を解決したいですか。 今度は、どんなことを知りたいですか。		次時への展望